

公立病院改革プランの概要

団 体 名		北海道豊富町					
プ ラ ン の 名 称		豊富町国民健康保険病院改革プラン					
策 定 日		平成 21年 3月 24日					
対 象 期 間		平成 21年度 ~ 平成 25年度					
病院 の 現 状	病 院 名	北海道豊富町国民健康保険病院					
	所 在 地	北海道天塩郡豊富町東1条8丁目					
	病 床 数	一般病床54床					
	診 療 科 目	内科、外科、小児科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<p>○町内唯一の医療機関として、豊富町民の生命と健康を守るため、一次医療及び初期救急医療を提供する。</p> <p>○生活習慣病検診をはじめとする予防医療を提供する。</p> <p>○町の保健、福祉、介護保険事業との連携を強化し、疾病予防から治療、アフターケアも含めた包括医療体制を推進する。</p> <p>○町民の医療ニーズに対応するため、近隣医療機関との連携について協議する。</p>					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<p>○病院の建設改良に要する経費の1/2相当額</p> <p>○病院事業債元利償還金の2/3相当額</p> <p>○救急医療確保に要する経費</p> <p>○保健衛生行政事務に要する経費</p> <p>○不採算地区病院の運営に要する経費(医業収益の減収補てん)</p> <p>○病院事業の経営研修に要する経費</p> <p>○職員の基礎年金拠出金公費負担経費</p> <p>○職員の児童手当に要する経費</p>					
経営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	97.8	99.8	101.7	102.1	101.9	
	医業収支比率	56.1	57.2	64.9	67.3	68.9	
	病床利用率	47.6	53.7	57.4	76.2	76.2	
	職員給与費比率	96.9	105.3	99.8	97.9	94.6	
	医療材料比率	21.2	19.4	18.0	17.7	17.7	
	他会計繰入金対経常収益比率	48.0	48.1	45.2	43.6	43.0	
上記目標数値設定の考え方		<p>・病床利用率は、病床数を平成22年度から削減することを前提とした目標設定。</p> <p>(経常黒字化の目標年度:平成21年度)</p>					

				団体名 (病院名)	北海道豊富町 (豊富町国民健康保険病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
入院患者数		9,412人	10,585人	11,315人	11,680人	11,680人	
外来患者数		26,740人	25,500人	26,730人	26,730人	26,730人	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期						
	民間的経営手法の導入	○清掃業務、管理業務、警備業務の民間委託化を導入済み。 ○外来患者用薬剤の院外処方化を平成16年10月から導入済み。					
	事業規模・形態の見直し	○病床数の削減を含め、病床利用率の向上を目指す。 ○病床数削減後の病室環境改善を検討する。(1室当たりの病床数を減らす)					
	経費削減・抑制対策	○人件費の削減 ・事務正職員数の削減(正職員8人→正職員5人+嘱託職員3人) ・医務手当の削減(平成21年度～平成23年度の3年間で11,544千円の削減) ・全職員(医師を含む)の給料3%削減(期末・勤勉手当にも反映)を継続実施(平成16年度から実施) ・医師の定年退職に伴う新陳代謝(平成20年度に副院長退職) ・看護師の定年退職に伴う新陳代謝(平成22年度～平成25年度で4人退職)					
	収入増加・確保対策	・平成21年度から特別養護老人ホーム定期回診業務受託料を引き上げる。 ・これまで月2回の出張診療を行って、毎年300万円以上の赤字となっているリハビリ室収支の改善を図る(平成21年4月1日付で理学療法士を新規採用し、平成21年度内に訪問リハビリ事業を開始する。)					
その他	・平成20年度に患者の利便性向上のため、受付・会計窓口をオープンカウンターに改修し、療養環境の改善を行なった。						
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	53.8%	18年度	56.1%	19年度	47.6%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	・病床利用率を70%以上にするため、平成22年2月に開催予定の「経営改善委員会」で「適正な病床数について」の答申を受け、平成22年4月から病床数の変更をする。					

団体名 (病院名)	北海道豊富町 (豊富町国民健康保険病院)
--------------	-------------------------

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	当豊富町国民健康保険病院が所在する「宗谷連携区域」には、下記の公立病院が開設されているほか、稚内市内には、医療法人禎心会が区域内で唯一脳神経外科を標榜する、稚内禎心会病院(110床)を開設している。 当病院(54床)、市立稚内病院(362床)、市立稚内こまどり病院(45床)、利尻島国保中央病院(48床)、猿払村国民健康保険病院(28床)、幌延町立病院(36床)、天塩町立国民健康保険病院(48床)		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	「北海道自治体病院広域化・連携構想」では、当病院は診療所化を含む規模の適正化について検討すべきものとされている。		
再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 平成20年5月	<内容> ・上川北部圏域のサブ区域として設定されている浜頓別町、中頓別町及び枝幸町を除く宗谷支庁管内市町村と留萌北部の天塩町及び幌延町並びに北海道により「宗谷地域自治体病院等広域化・連携検討会議」を設立。		
	平成24年度末まで	上記「北海道自治体病院等広域化・連携構想」に示された方向性を踏まえ、上記会議において検討・協議を行い、結論を得る。		
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所) <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所) <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合	
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度
点検・評価・公表等	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	<input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	<時期> 平成21年3月24日	<内容> ・当面は現状維持	
点検・評価・公表等	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	○既存の「豊富町国民健康保険病院経営改善委員会」を活用して、改革プランの取り組み状況等の点検・評価を行う。 <経営改善委員会構成メンバー> ・民間委員 5人 議会推薦委員 4人 ○町広報紙・ホームページで公表する。		
点検・評価・公表等	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年度2月末		
その他特記事項				

(別紙)

団体名 (病院名)	北海道豊富町 (豊富町国民健康保険病院)
--------------	-------------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度							
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
収	1. 医 業 収 益 a	365	316	338	362	373	373	373	373
	(1) 料 金 収 入	335	286	306	330	336	336	336	336
	(2) そ の 他	30	30	32	32	37	37	37	37
	うち他会計負担金	21	21	22	22	22	22	22	22
	2. 医 業 外 収 益	247	267	286	236	223	208	206	204
	(1) 他会計負担金・補助金	239	259	278	227	214	199	197	195
	(2) 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他	8	8	8	9	9	9	9	9
	経 常 収 益 (A)	612	583	624	598	596	581	579	577
	入	1. 医 業 費 用 b	574	564	591	557	555	541	535
(1) 職 員 給 与 費 c		318	307	356	361	366	353	347	347
(2) 材 料 費		65	67	65	65	66	66	66	66
(3) 経 費		147	147	128	113	111	111	111	111
(4) 減 価 償 却 費		43	42	42	18	12	11	10	9
(5) そ の 他		1	1	0	0	0	0	1	1
2. 医 業 外 費 用		33	32	34	31	29	29	26	25
(1) 支 払 利 息		27	25	24	23	21	21	19	18
(2) そ の 他		6	7	10	8	8	8	7	7
経 常 費 用 (B)		607	596	625	588	584	570	561	559
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	5	▲ 13	▲ 1	10	12	11	18	18	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別損益(D)-(E) (F)	0	0	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	5	▲ 13	▲ 1	10	12	11	18	18	
累 積 欠 損 金 (G)	180	193	194	184	172	161	143	125	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	168	160	151	150	145	139	141	142
	流 動 負 債 (イ)	17	15	17	17	17	17	17	17
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額	0	0	0	0	0	0	0	0
	差引 不良債務 [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)] (オ)	▲ 151	▲ 145	▲ 134	▲ 133	▲ 128	▲ 122	▲ 124	▲ 125
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)	▲ 19	6	11	1	5	6	▲ 2	▲ 1	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.8	97.8	99.8	101.7	102.1	101.9	103.2	103.2	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	-41.4	-45.9	-39.6	-36.7	-34.3	-32.7	-33.2	-33.5	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	63.6	56.1	57.2	64.9	67.3	68.9	69.9	70.0	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	87.2	96.9	105.3	99.8	97.9	94.6	92.9	92.9	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0	0	0	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0	0	0	0	0	0	0	0	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	0	0	0	0	0	0	0	0	
病 床 利 用 率	56.1	47.6	53.7	57.4	76.2	76.2	76.2	76.2	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」

団体名 (病院名)	北海道豊富町 (豊富町国民健康保険病院)
--------------	-------------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
区分	1. 企業債	0	0	10	15	0	0	0	0
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	6	0	0	21	24	29	32	36
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	4	3	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	10	15	0	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入計(a)	6	0	24	54	24	29	32	36
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分(c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)}(A)	6	0	24	54	24	29	32	36	
支出	1. 建設改良費	1	5	27	33	0	0	0	0
	2. 企業債償還金	34	30	31	32	35	39	42	45
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	1	1	1	1	0	0
	支出計(B)	35	35	59	66	36	40	42	45
差引不足額(B)-(A)(C)	29	35	35	12	12	11	10	9	
補てん財源	1. 損益勘定留保資金	29	35	35	12	12	11	10	9
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計(D)	29	35	35	12	12	11	10	9	
補てん財源不足額(C)-(D)(E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額(E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
収益的収支	(8,859)	(8,414)	(8,012)	(7,648)	(7,338)	(6,908)	(6,446)	(5,962)
	260,176	280,000	300,000	249,049	235,684	221,096	217,959	214,496
資本的収支	()	()	()	()	(1,127)	(2,855)	(3,367)	(3,212)
	0	0	0	20,951	24,316	28,904	32,041	35,504
合計	(8,859)	(8,414)	(8,012)	(7,648)	(8,465)	(9,763)	(9,813)	(9,174)
	260,176	280,000	300,000	270,000	260,000	250,000	250,000	250,000

(注)

- 1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。